

伊賀市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について

1.この計画をなぜ作るのか

【現状】

- 令和6年4月に「ゼロカーボンシティ宣言」
⇒市民、事業者、行政が一体となって脱炭素社会実現をめざす！
- 本市CO2排出量の約70%が産業部門（全国平均42%）
⇒運輸部門約13%、家庭部門約8%、業務その他部門8%
(2022年度版CO2自治体排出量カルテ)

【課題】

- 経済活動を抑制せずCO2排出量削減に取組む必要性
- 市民・事業者が自主的に取り組む機運を醸成する必要性
⇒運輸部門、家庭部門をはじめ、各主体の自主的な取組みにより
市全体のCO2排出量削減を図ることが重要

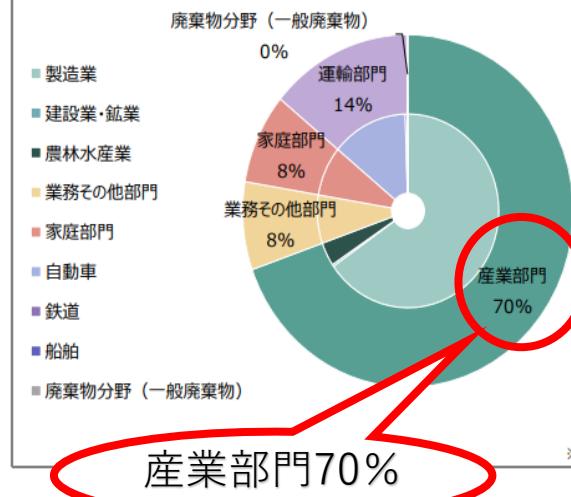
2.どんな計画なのか

【地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定】

- 2050年のカーボンニュートラル実現に向け、最初の10年間の計画を策定
- CO2排出量を削減と地域活性化や地域課題の同時解決を図る
- 再エネ・省エネ促進、交通対策、吸収源対策、循環型社会形成、地域経済・社会の持続的発展に資する取組等

(地球温暖化対策推進法)

3) 部門・分野別CO2排出量構成比 令和4年度（2022年度）



部門・分野	令和4年度 排出量 [千t-CO ₂]	構成比
合 計	1,335	100%
産業部門	929	70%
製造業	872	65%
建設業・鉱業	5	0%
農林水産業	53	4%
業務その他部門	108	8%
家庭部門	111	8%
運輸部門	186	14%
自動車	181	14%
旅客	87	7%
貨物	94	7%
鉄道	5	0%
船舶	0	0%
廃棄物分野（一般廃棄物）	1	0%

※表中の構成比は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

出典：環境省 排出量カルテ

3.策定のながれ

①8/22～9/16 ※市民・事業者無作為抽出アンケート
(市民2000人、事業者200社)

②10/30 ※伊賀市環境審議会 ◀

③11月中 ※中間案取りまとめ

④12月中旬以降 ※パブリックコメント募集

⑤令和8年2月下旬 ※最終案完成予定

4. この計画の将来像と実現したイメージ

望ましい将来像

ゼロカーボンシティを実現した地球にやさしい 忍びの里伊賀

計画の構成

